

第96回 定時株主総会



日産車体株式会社

議決権数等のご報告

議決権数等のご報告

第96期末現在の株主総数 4,417名

発行済株式の総数 157,239,691株

議決権を有する株主数 3,936名

議決権総数 1,354,259個

監査役会の 監査報告

招集ご通知の添付書類56頁・57頁を
ご参照ください。

報告事項

1. 第96期（2018年4月1日～2019年3月31日）

事業報告の内容、連結計算書類の内容

2. 第96期（2018年4月1日～2019年3月31日）

計算書類の内容報告

企業集団の現況に 関する事項



NV200
VANETTE



NV150
AD



NV350
CARAVAN



ELGRAND



CIVILIAN



ATLAS F24



ARMADA



PATROL



Infiniti QX80

売上台数

(台)

+8.3%

229,901

250,000

200,000

150,000

100,000

50,000

0

213,635

230,331

212,198

2015年度

2016年度

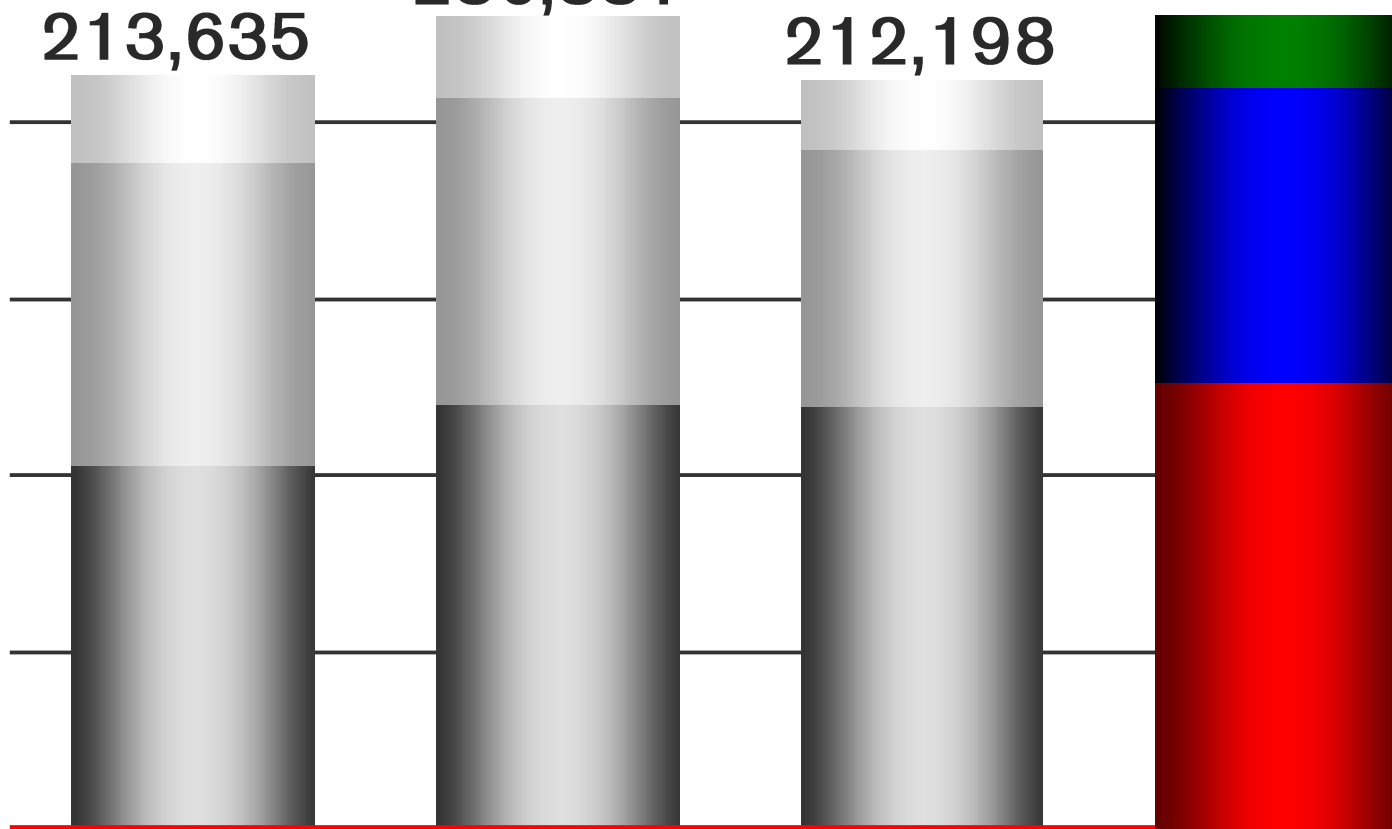
2017年度

2018年度

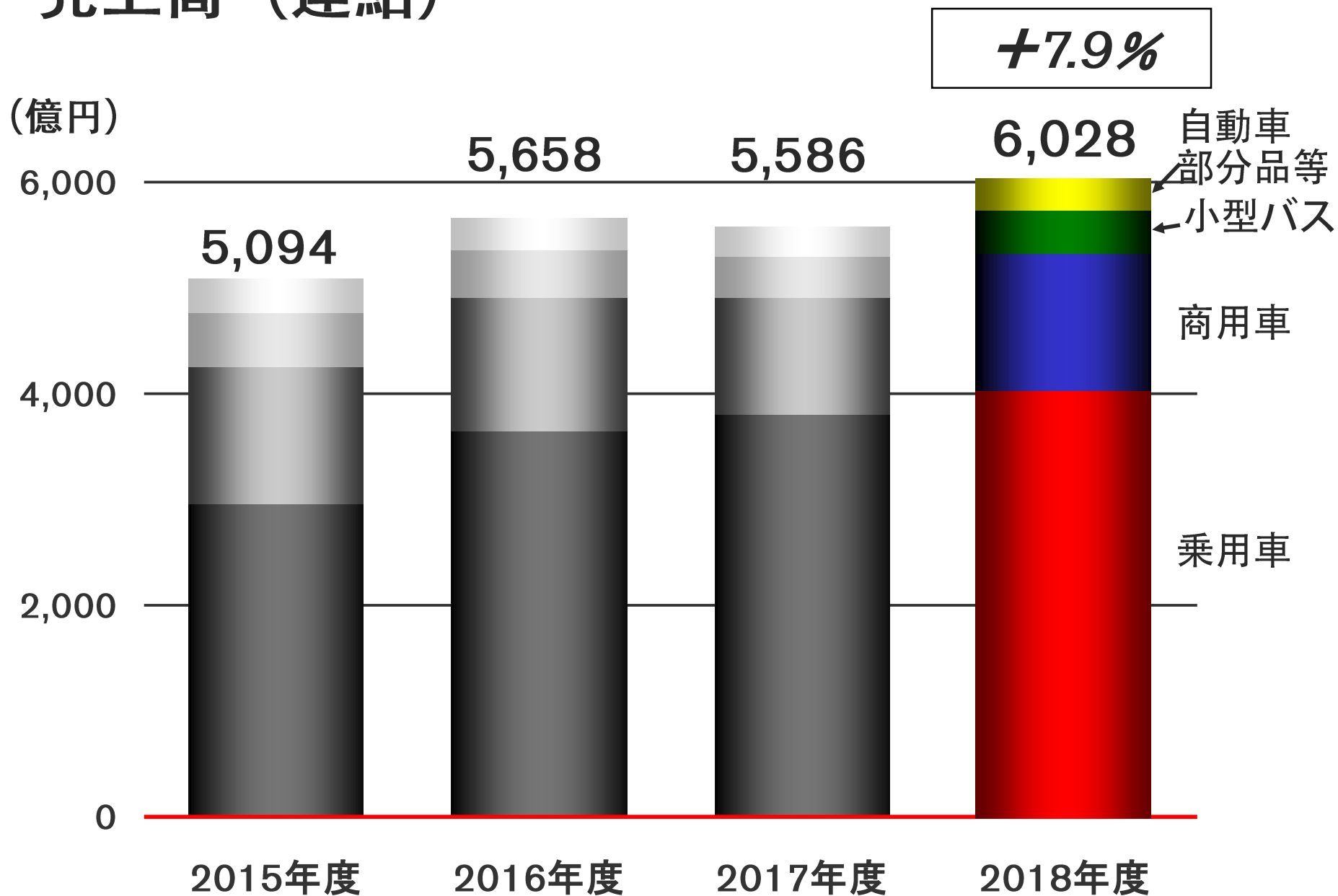
小型バス

商用車

乗用車

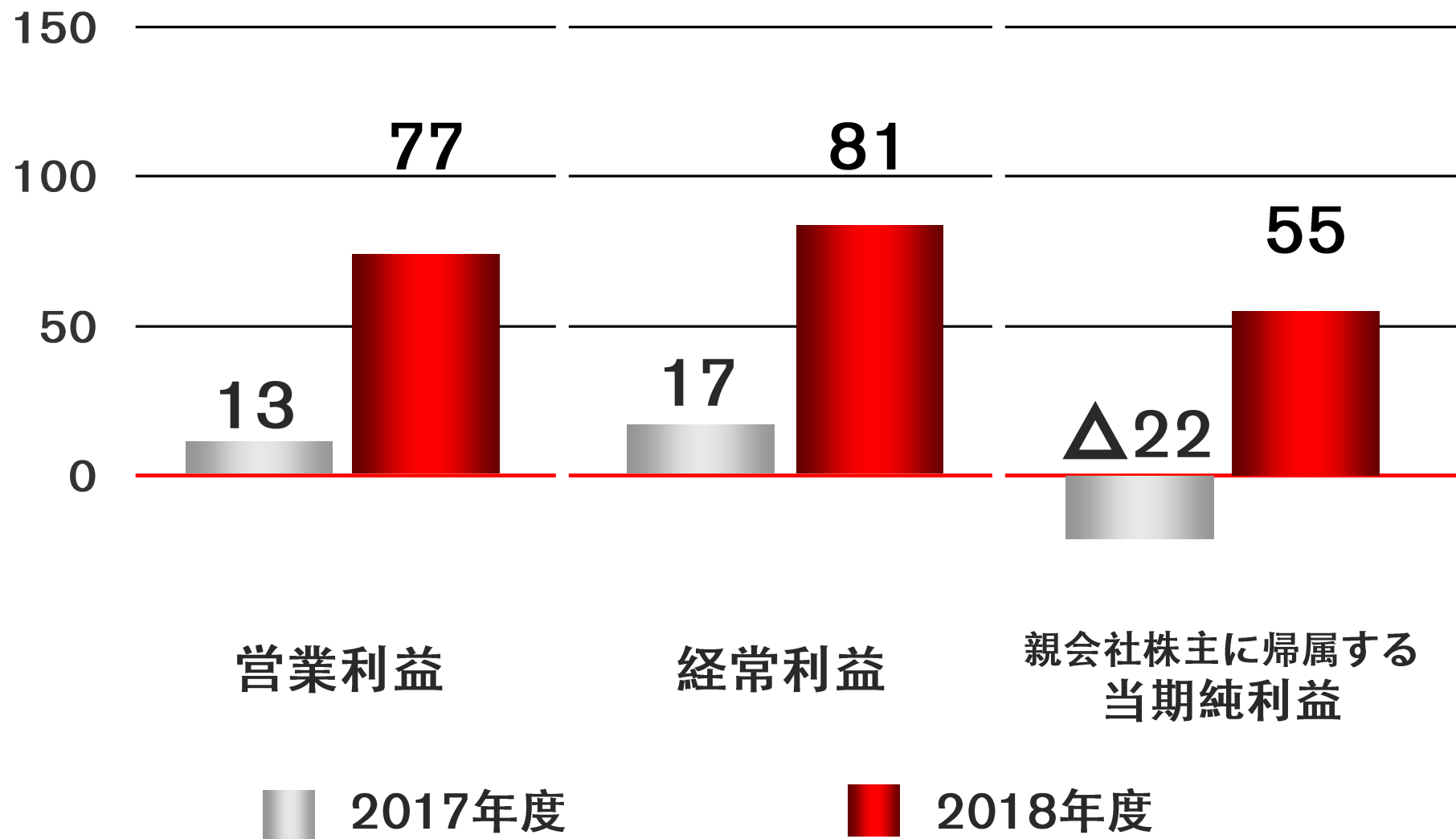


売上高 (連結)



損益の比較（連結）

(億円)



資金調達の状況

設備投資の状況

総額 約86億円

- 新商品、マイナーチェンジによる商品力強化
- 諸設備の合理化及び改善

業務の適正を確保するための 体制等の整備について (内部統制)

招集ご通知の添付書類29頁～35頁を
ご参照ください。

連結計算書類

招集ご通知の添付書類36頁～43頁を
ご参照ください。

連結貸借対照表

2019年3月31日現在

連結貸借対照表 (概要)

(億円)

科 目	金額	前期比	科 目	金額	前期比
資産の部	2,685	△45	負債の部	1,024	△89
流動資産	2,094		流動負債	897	
固定資産	590		固定負債	127	
有形固定資産	529		純資産の部	1,660	+43
無形固定資産	10		株主資本	1,671	
投資その他の資	51		資本金	79	
			資本剰余金	85	
			利益剰余金	1,733	
			自己株式	△226	
			その他の 包括利益累計額	△11	
合 計	2,685		合 計	2,685	

※詳細は招集ご通知の添付書類36頁をご参照ください。

※記載金額については、億円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

自 2018年4月 1日

至 2019年3月31日

連結損益計算書（概要）

（億円）

科 目	金 額
売 上 高	6,028
売 上 原 価	5,879
売 上 総 利 益	148
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	71
営 業 利 益	77
営 業 外 収 益	6
営 業 外 費 用	2
経 常 利 益	81
特 別 利 益	0
特 別 損 失	2
法 人 税 等 合 計	23
親会社株主に帰属する当期純利益	55

※詳細は招集ご通知の添付書類37頁をご参照ください。

※記載金額については、億円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等 変動計算書

自 2018年4月 1日

至 2019年3月31日

招集ご通知の添付書類38頁・39頁を
ご参照ください。

計算書類

招集ご通知の添付書類44頁～53頁を
ご参照ください。

日産車体創立70周年のお礼

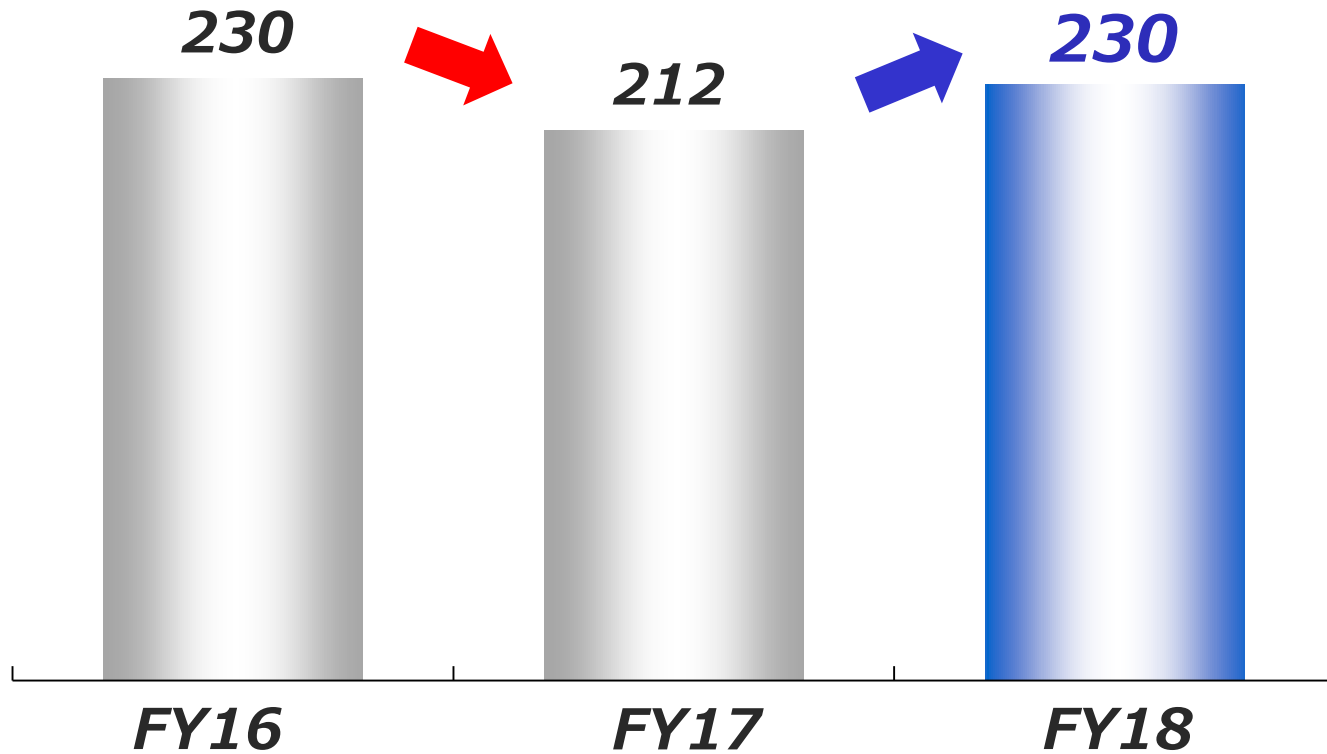


日産車体株式会社

対処すべき課題

2018年度振り返り

FY18生産台数 年度実績 (千台)



2018年度振り返り

生産体制

湘南工場



**FY18 下期から
2交替→昼勤のみに変更**

日産車体九州



**FY19 6月から
3交替→2交替勤務に変更**

2018年度振り返り

完成検査再発防止進捗状況（14項目93件）

① 完成検査ラインの構成およびオペレーションの修正(残2件) ⇒2020年9月完了予定

② 完成検査員 員直し・教育基準の強化

③ 完成検査員 員直し・教育基準の強化
④ 完成検査員 員直し・教育基準の強化
⑤ 完成検査員 員直し・教育基準の強化 策

⑥ 完成検査員 員直し・教育基準の強化 策

⑦ 完成検査員 員直し・教育基準の強化 策

⑧ 完成検査員 員直し・教育基準の強化 策

⑨ 組織の強化 ⇒2019年6月完了予定

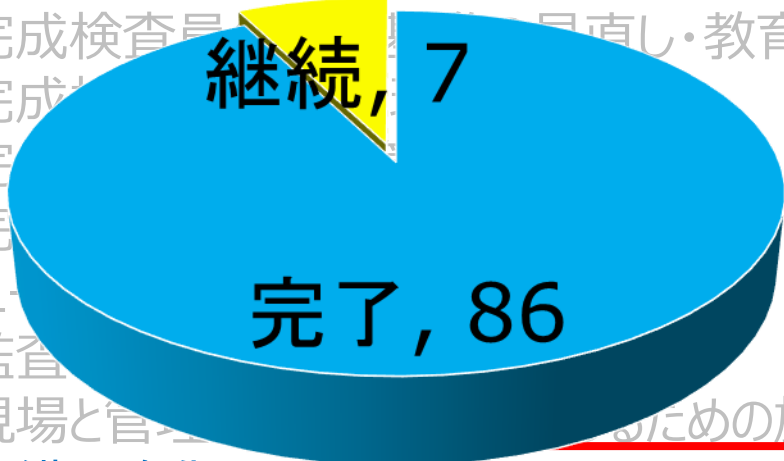
⑩ 上記対策の実施及び進捗フォロー体制について

⑪ 抜き取り検査のオペレーションの修正

⑫ 抜取検査の検査装置・設備の整備(残2件) ⇒2020年3月完了予定

⑬ 追加対策（【2019年2月追加項目】）

⑭ コンプライアンスの徹底(残2件) ⇒2019年9月完了予定



～主な継続課題～

- ・完成検査ラインの最適システム対応
- ・ミッションステートメントの改定

2018年度振り返り

商品の競争力



NV200バネット

冬季運転を快適にするクイックヒーターパック追加

先進安全装備を全グレードに充実



エルブランド

20年ぶりのフルモデルチェンジでさらに使いやすく

緊急ブレーキ



踏み間違い衝突防止アシスト



パラメディック

2019年度取り組み

2017-2022 中期経営計画

【基本方針】

LCV・Frame車を技術力の核とし
高品質で魅力ある商品をお客様にお届けすることで
将来にわたる強靱な企業基盤を確立する

【全社中期目標】

商品の競争力

魅力ある商品による生産台数と売上の拡大

工場の競争力

品質No.1, お客様から信頼される工場

技術・技能の競争力

LCV・Frame車ものづくりグローバル技術拠点の実現

すべての活動を支える基盤

2019年度取り組み

2017-2022 中期経営計画

【基本方針】

LCV・Frame車を技術力の核とし
高品質で魅力ある商品をお客様にお届けすることで
将来にわたる強靱な企業基盤を確立する

【全社中期目標】

商品の競争力

魅力ある商品による生産台数と売上の拡大

工場の競争力

品質No.1, お客様から信頼される工場

技術・技能の競争力

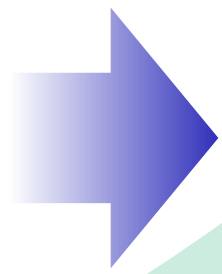
LCV・Frame車ものづくりグローバル技術拠点の実現

すべての活動を支える基盤

今年度の新型車イベント



Y62パトロール



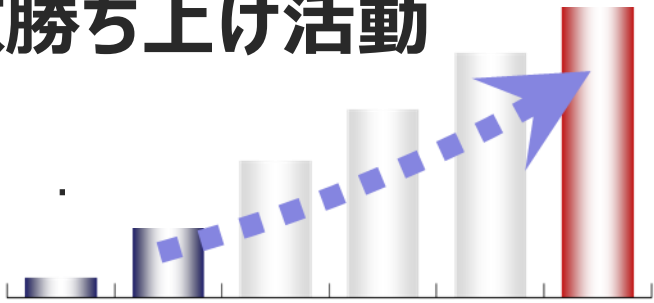
**中近東向け 大規模
マイナーチェンジの
立ち上げ**

中近東販売台数の巻き返しを図る

2019年度取り組み

商品の競争力

台数勝ち上げ活動



FY17 FY18 FY19 FY20 FY21 FY22

活動地域を拡大

中近東・北アフリカ
・サウジアラビア活動再開
・モロッコ活動拡大

中南米
日産トレーディングと
協業で調査実施

アフリカ
サブサハラアフリカ諸国
活動拡大

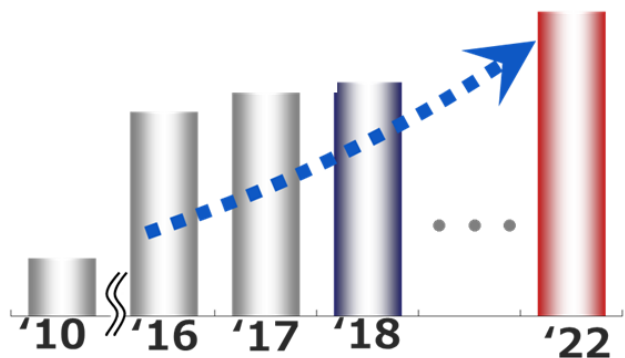
東南アジア&オセアニア
タイ、マレーシア、パプア
ニューギニア活動拡大



2019年度取り組み

商品の競争力

コンバージョン売り上げの拡大



専用色&ツートン塗装の
仕様追加を検討していく



2019年度取り組み

2017-2022 中期経営計画

【基本方針】

LCV・Frame車を技術力の核とし
高品質で魅力ある商品をお客様にお届けすることで
将来にわたる強靱な企業基盤を確立する

【全社中期目標】

商品の競争力

魅力ある商品による生産台数と売上の拡大

工場の競争力

品質No.1, お客様から信頼される工場

技術・技能の競争力

LCV・Frame車ものづくりグローバル技術拠点の実現

すべての活動を支える基盤

2019年度取り組み 工場の競争力

品質No.1, お客様から信頼される工場

北米有力誌「コンシューマーレポート」が“推奨車”に選定

CR

Consumer
Reports



RECOMMENDED



ARMADA

日産車体株式会社

2019年度取り組み

工場の競争力

湘南工場&日産車体九州
品質・コスト・スピード向上の取り組み

・北米市場品質No.1
・品質重点課題改善活動

・最適な人員計画



・設備総合効率向上

設備総合効率向上により工場の競争力を強化

2019年度取り組み

2017-2022 中期経営計画

【基本方針】

LCV・Frame車を技術力の核とし
高品質で魅力ある商品をお客様にお届けすることで
将来にわたる強靱な企業基盤を確立する

【全社中期目標】

商品の競争力

魅力ある商品による生産台数と売上の拡大

工場の競争力

品質No.1, お客様から信頼される工場

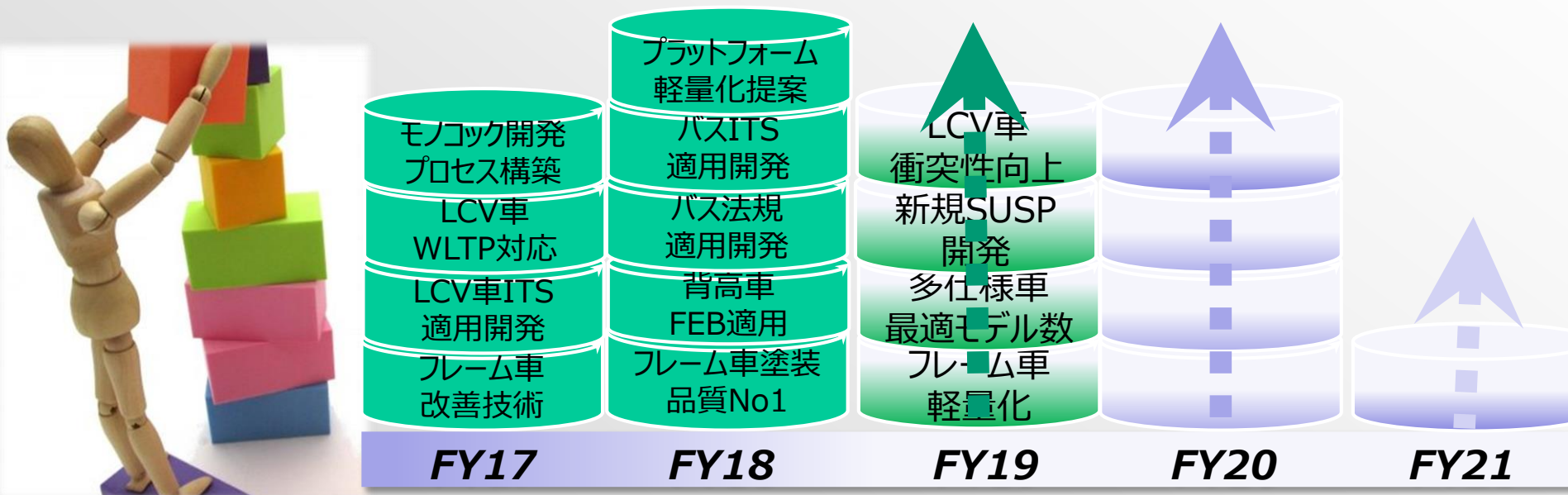
技術・技能の競争力

LCV・Frame車ものづくりグローバル技術拠点の実現

すべての活動を支える基盤

FY19の主な取り組み技術

- ✓ フレーム車、軽量化技術開発
- ✓ モノコック車の最適モデル数提案
- ✓ 新規サスペンション開発
- ✓ LCV車、衝突性能向上



更なる先進ITSを加え、技術の蓄積を促進していく

2019年度取り組み

2017-2022 中期経営計画

【基本方針】

LCV・Frame車を技術力の核とし
高品質で魅力ある商品をお客様にお届けすることで
将来にわたる強靱な企業基盤を確立する

【全社中期目標】

商品の競争力

魅力ある商品による生産台数と売上の拡大

工場の競争力

品質No.1, お客様から信頼される工場

技術・技能の競争力

LCV・Frame車ものづくりグローバル技術拠点の実現

すべての活動を支える基盤

ダイバーシティの促進

「誰もが働きやすい職場の実現」

時短制度

- ・就業時間短縮
- ・深夜就業/時間外制限
(育児・介護)

休暇制度

- ファミリーサポート休暇
(育児・介護)

育児支援

- ・在宅勤務
- ・ベビーシッター支援サービス
- ・保育園開園(湘南)
- ・保育園費用補助(NS-K)

休職制度

- ・母性保護休職
- ・育児休職(男性も可)

ワークライフバランスの適正化を継続

2019年度取り組み

全ての活動を支える基盤

日産車体運営の保育園開園



2019年4月1日 キッズ きゃらばん開園式

日産車体株式会社

ダイバーシティの促進

「誰もが働きやすい職場の実現」

利用率向上

時短制度

- ・就業時間短縮
- ・深夜就業/時間外制限
(育児・介護)

休暇制度

- ファミリーサポート休暇
(育児・介護)

育児支援

- ・在宅勤務
- ・ベビーシッター支援サービス
- ・保育園開園(湘南)
- ・保育園費用補助(NS-K)

休職制度

- ・母性保護休職
- ・育児休職(男性も可)

各種制度を利用しやすい環境づくり

2019年度取り組み

2017-2022 中期経営計画

〔基本方針〕

LCV・Frame車を技術力の核とし
高品質で魅力ある商品をお客様にお届けすることで
将来にわたる強靱な企業基盤を確立する

〔全社中期目標〕

商品の競争力

魅力ある商品による生産台数と売上の拡大

工場の競争力

品質No.1, お客様から信頼される工場

技術・技能の競争力

LCV・Frame車ものづくりグローバル技術拠点の実現

すべての活動を支える基盤

対処すべき課題

第96回 定時株主総会



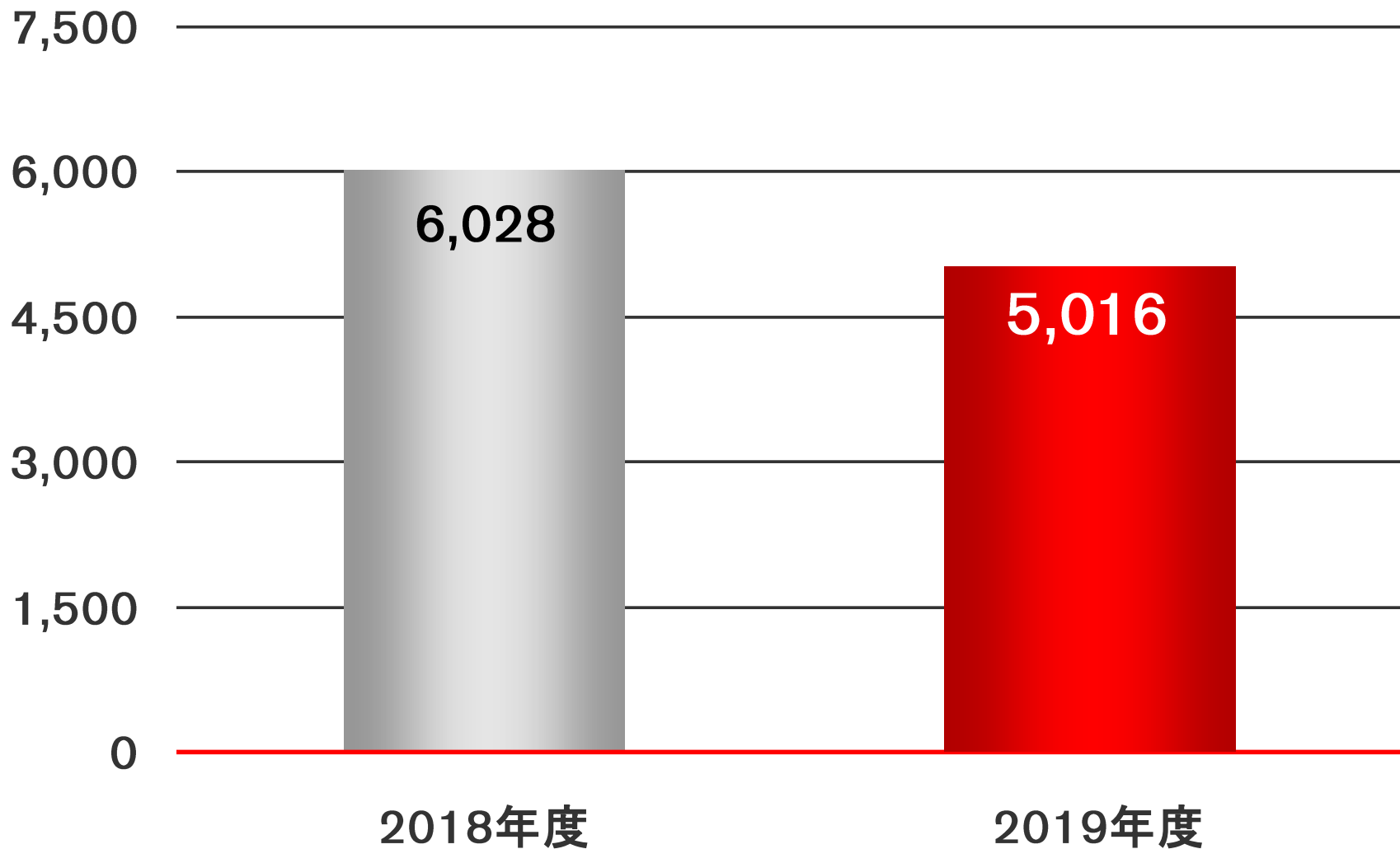
日産車体株式会社

2019年度業績見込み

(連結)

総売上高

(億円)



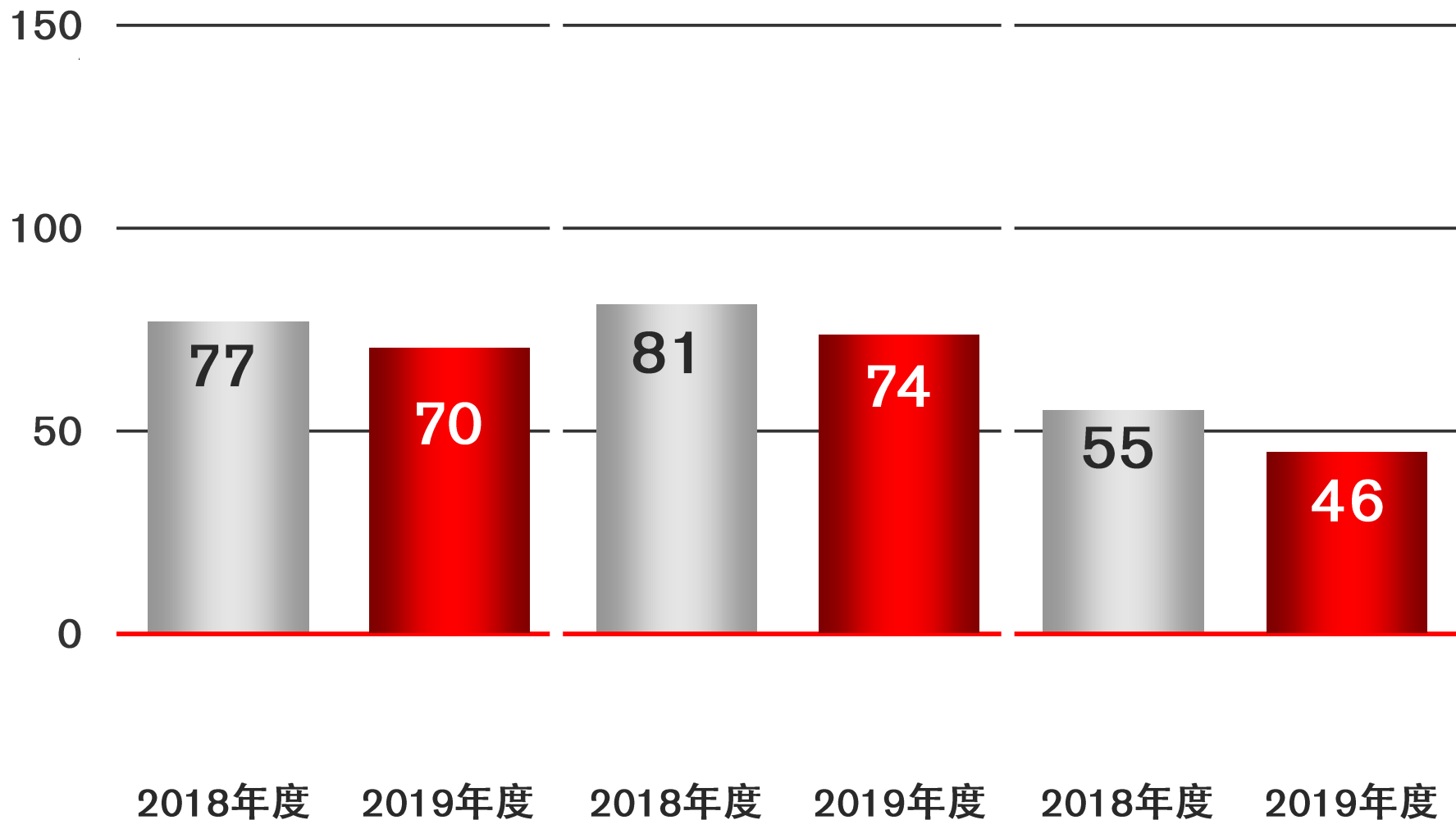
(連結)

営業利益

経常利益

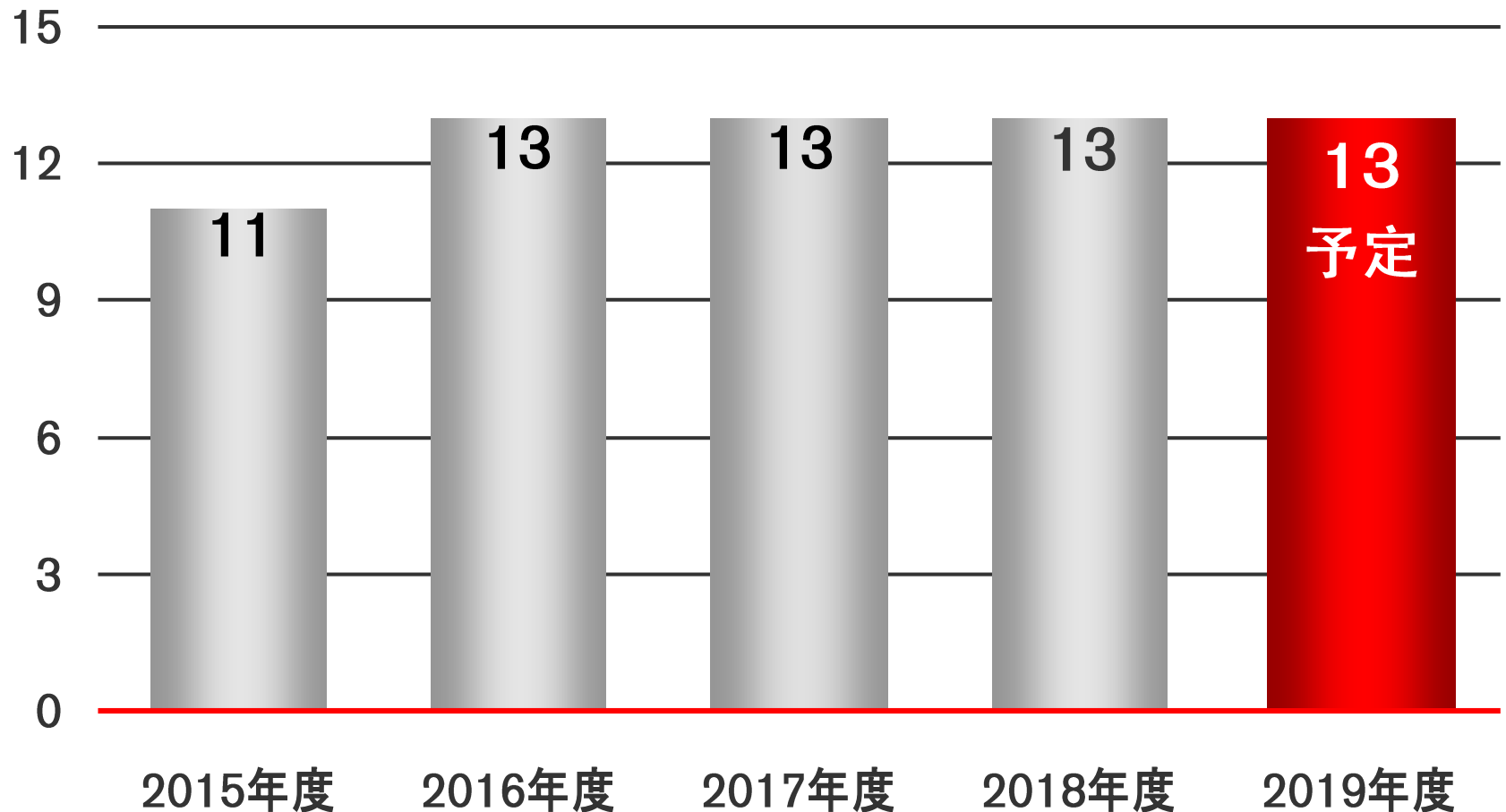
親会社株主に帰属する
当期純利益

(億円)



1株当たりの年間配当の推移

(円)



第96回 定時株主総会



日産車体株式会社